

ここすき！特別企画 幼稚園に行ってきました！

## 東立川幼稚園 幼稚園訪問インタビュー

東立川幼稚園は、立川との市境に位置し、北地域に唯一ある幼稚園です。その歴史は古く、1954年に立川短期大学の付属幼稚園として立川市曙町に創設され、1960年、立川短期大学が東京都に移管されるのを機に独立し、現在の場所に設置されました。当時は、木も全くない土地でしたが、1本ずつ植えた桜や欖の木々が年月とともに大きく育ち、歴史を感じさせられます。



### 教育目標

「人間を大切にし、主体的に生活を営む子ども」を中核に4つの子ども像を目指しています。

- 健康な子ども
- 自律・協力できる子ども
- 生活をつくる子ども
- 文化的・思考的な子ども

広い園庭に、平屋の園舎がL字型に配置され、どこにいても全体が見渡せて、安心して遊べます。木製の遊具や、園児が手作りした小屋などが並び、また茶色の瓦屋根の園舎と相まって、どこかほっとさせられる、温かみのある佇まいです。



東立川幼稚園の自慢は？

「ここで生活している子どもたちの存在。また、給食もなし、長時間の預かりもなし、無いもの尽くしで決して楽ではない幼稚園だけれども、ここで過ごさせようと預けてくれる保護者と、大変だけれども子どものために頑張っている職員です」とのことでした。

東立川幼稚園では、基底になる生活（生きる力の源となる活動）の上に、友だちとみんなで取り組む中心となる活動（園生活の核となる活動）があり、それらを支える力をつけるために、系統的学習活動（学ぶ力を育む活動）があるとのこと。系統的学習活動には、造形や音楽リズム、体育などがありますが、外部講師を呼ぶことはなく、幼稚園の職員が全て指導をしているそうです。職員の中にも得意・不得意があるので、互いにカバーし合い、（大人も子どもも）自分の持つ力を、自分のためにも他人のためにも使うということを大切にしたいとおっしゃっていました。



取材に行った日は、第4小学校の5年生が遊びに来ていました

園生活の中では、大きい子と小さい子が自然に関われるように配慮しており、その結果として、大きい子も小さい子もお互いに自信を持てるようになるということです。また、年長児は学校への見通しや期待を持てるように、まずは小学生に幼稚園に来て年長児を知ってもらい、その後小学校に招待してもらうという取り組みをしているそうです。いずれにしても、“人に出会う”ということを大切に、学校がどんな場所かを知るだけでなく、“どんな人が暮らしているところなのか”を学んできてほしいと考えているそうです。人と出会うということが難しい今、いろいろな人と出会って、“自分がいろいろな人に大事にされている”ということを実感してほしいとのことでした。

浅生園長先生は、別の分野の短大を卒業されたのですが、ある幼稚園の先生との出会いから、保育に興味を持ち、白梅大学に3年間通われ、資格を取りました。その先生が、子どもの遊びについて夢中になって話す姿を見て、何がそうさせるのか？を知りたくなったのだそうです。そして、自身が幼稚園で子どもと関わるようになり、ブランクを漕いでいた3歳児に集まるよと声をかけた時に「私は今、これをやっているからいけない」と、きっぱりと伝えられたことに衝撃を受け、“小さくても、自分の思いを持って生きている”…そこに、向き合っていこうと、決心されたのだそうです。



園長先生が、この仕事で感動したことは、「人って、変われる存在なんだ。変わってより良くなりたいという気持ちを持っていて、変わっていけること。そういう子どもたちを見ていると、希望に満ちていて、大人が希望をもらえる。」と、話されていました。

東立川幼稚園では、月1回、保護者会が開かれていて、園長先生が話をする時間があるそうです。子どもと生活する中で家庭と共有したほうが良い事柄をお話しているとのことですが、その時間を通じて、幼稚園で大切にしている考え方が保護者に伝わっていくのだなと感じました。

園長先生の休日の過ごし方を聞いてみると、歌舞伎やクラシック、また、縄文時代の石器などに興味があるとのことでしたが、自分の趣味を楽しみながらも、これは幼稚園の行事に取り入れられるかもと常に子どもの幸せを考えているという眼差しが感じられました。

最後に国立市に期待することをお聞きしました。市報の新年号の座談会を読み、国立市が子どものことを考えて、できることを応援しようという姿勢があることはすごく有難いことだとおっしゃっていました。環境や人的措置など、一つの園だけではできないことがあり、行政の力を借りなければできないことがあると思うので、現場が抱えている問題を知って、たくさん応援していただきたいとのこと。“地域の中で、子どもが大切にされて育っていくこと”に関して、市に手伝ってもらおうことがあるのではと、話されていました。

※幼稚園のホームページは市役所ホームページからもご覧になれます。

国立市ホームページ→子育て支援ページ→子どもを預ける→幼稚園→国立市幼稚園等一覧